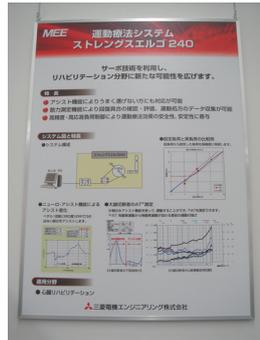
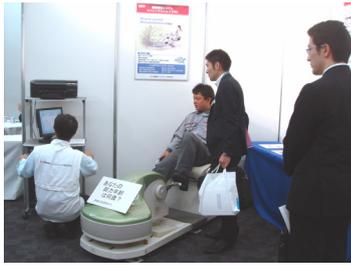


トピックス

(1) MEE ニューテクノロジーフェアのご紹介

MEE の最新機器、および要素技術の紹介として、10/24-25 に秋葉原 UDX にて MEE の製品を多岐にわたり紹介。約 1600 名のご来場者があり、ストレンクスエルゴもサーボ技術の応用製品として、紹介いたしました。脚力年齢のご紹介は好評で、約 100 名の方が体験されました。脚力年齢を測定し結果に一喜一憂しながらプリント結果をお持ち帰り頂きました。



Q&A ワンポイント紹介

(1) 「ストレンクスエルゴ 8」の負荷トルクのかかり方のご紹介

Q: 皆様からのご質問で、以下のようなお問い合わせがあります。

- ① 「ペダルの負荷を変更したが、ペダルをゆっくり漕いでいる時に負荷が変化しないような気がします。」
- ② 「ペダルの負荷が急に重くなったような気がする。」
- ③ 「二台のストレンクスエルゴの負荷が異なっているような気がする。」

A: これらの現象は、正確な負荷を実現するために、負荷のかかり方が以下のように設定されているために生じる現象です。負荷のかかり初めから設定された負荷設定値までの詳細な到達方法を以下にご紹介します。

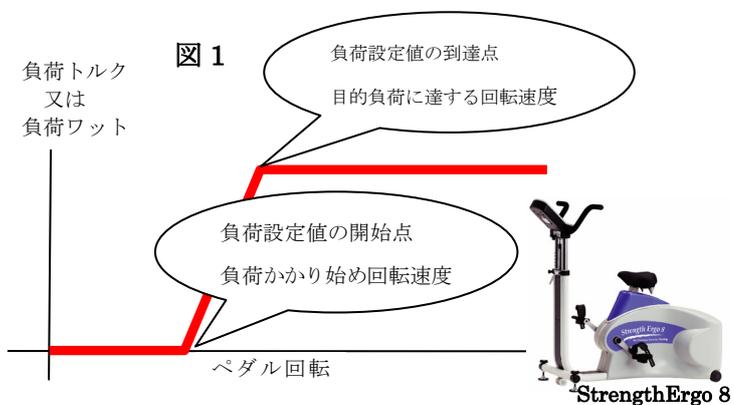
① 図1のような負荷トルクを設定した場合に、実際にペダルにかかる負荷を0から徐々に目標値に近づけるために、徐々に負荷を増加しています。一気に負荷を目標値に設定すると、スムーズに漕ぐことができません。

特にワット負荷を設定する場合には、ペダルの回転速度と負荷トルクの積がワット負荷となるため、ペダルの回転速度が0の時は、無限大の負荷トルクが必要になります。

しかし、無限大の負荷トルクがかかると、ペダルを漕ぐことができません。そこで、ある程度のペダル回転速度までは、ワット負荷を0から徐々に増加していく必要があります。

負荷トルク
又は
負荷ワット

図 1



② 設定方法について

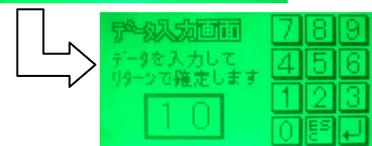
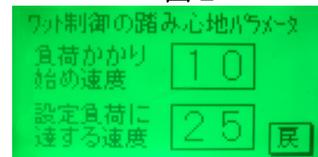
設定 → 設定変更 を選択し、運動モード → ワット制御 の下の設定負荷を選択し、右の図2のワット制御の踏み心地パラメータの画面で、負荷かかり始め速度の10と設定負荷に達する速度の25の値を上記の内容に基づいて設定します。設定数値の変更方法は、10の所をタッチするとデータ入力画面が表示されますので、数値を指定してで確定します。

図2のワット制御の場合は、負荷かかり始め速度が10r/minなので、10r/minまでは負荷が全くかかりません。10r/minを超えると25r/minまで徐々に負荷が増えていき、25r/minで目的の設定された負荷となります。

なお、ストレンクスエルゴ 240 でも、同様の設定ができます。

(エルゴニュース No. 50 で紹介)

図 2



あとがき

今後も、貴重な情報をお寄せください。

ストレンクスエルゴホームページURL: <http://www.mee.co.jp/sales/other/strengthergo/confirm.html>

発行元：三菱電機エンジニアリング株式会社
名古屋事業所 営業部 業務課
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷 139
TEL (0568)-36-2096 FAX(0568)-36-2376